

「伊丹市交通事業経営戦略」の進捗状況等の公表について

投資・財政計画の実績を報告いたします。

1. 収益的収支

(単位:千円)

区 分		年 度	30年度		増減額
			計画	決算	
経 常 収 支	経 常 収 益	営 業 収 益	2,090,093	2,066,047	△ 24,046
		営 業 外 収 益	284,068	247,121	△ 36,947
		収 入 計	2,374,161	2,313,168	△ 60,993
	経 常 費 用	営 業 費 用	2,302,382	2,295,348	△ 7,034
		営 業 外 費 用	7,660	5,407	△ 2,253
		支 出 計	2,310,042	2,300,755	△ 9,287
特 別 損 失		3,300	5,445	2,145	
単 年 度 純 利 益		60,819	6,968	△ 53,851	
累 積 欠 損 金		△ 379,293	△ 408,810	△ 29,517	
年 度 末 資 金 過 不 足 額 ※		1,014,891	963,748	△ 51,143	

※年度末資金過不足額＝流動資産－（流動負債－翌年度償還予定企業債元金）

決算数値の流動資産には、固定資産・建設仮勘定に計上している工事前払金144,000千円を含めている。

○ 経常収益

(1) 営業収益

乗合旅客運賃収入が予定を約27,000千円下回ったことから、合計では計画に比して24,046千円の減少となりました。

(2) 営業外収益

市有物件災害共済を総合契約に見直したことで事故賠償等に対する共済金が約17,000千円、一般会計補助金の受入減に伴い長期前受金戻入が約10,000千円予定を下回ったこと等から、合計では計画に比して36,947千円の減少となりました。

○ 経常費用

(1) 営業費用

軽油の単価が想定より20%高騰したため、燃料費が予定を約25,000千円上回ったものの、減価償却費や事故費等のその他経費が予定を約30,000千円下回ったこと等により、合計では計画に比して7,034千円の減少となりました。

(2) 営業外費用

支払利息が予定を下回ったこと等により、合計では計画に比して2,253千円の減少となりました。

○ 単年度純利益

経常費用は計画に比して減少となったものの、経常収益の減少がそれを上回ったことから、計画を53,851千円下回る結果となりました。

2. 資本的収支

(単位: 千円)

区 分		年 度		増減額
		30年度	30年度	
		計画	決算	
資 本 的 収 入		313,950	124,643	△ 189,307
資 本 的 支 出		515,836	242,620	△ 273,216
収 支 不 足 額		△ 201,886	△ 117,977	83,909
補てん財源	消費税資本的収支調整額	36,072	8,956	△ 27,116
	損益勘定留保資金	165,814	109,021	△ 56,793

○ 資本的収入

局庁舎大規模改修工事に係る企業債の大半が翌年度借入れとなったこと、並びに大型乗合車両(ノンステップバス)購入に係る一般会計補助金の収入が予定を下回ったこと等により、合計では計画に比して189,307千円の減少となりました。

○ 資本的支出

局庁舎大規模改修工事を翌年度に繰り越したこと、ICカードシステムが後方支援機器更新、待機公舎取壊し工事等の実施時期を先送りしたこと等から、合計では計画に比して273,216千円の減少となりました。